

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1044.00	2021/6/21
High	1117.52	2021/6/21
Low	1023.50	2021/6/21
Close	1113.50	2021/6/25

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3703.00	2021/6/21
High	3972.00	2021/6/25
Low	3617.00	2021/6/21
Close	3965.00	2021/6/25

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2467.00	2021/6/21
High	2663.00	2021/6/25
Low	2467.00	2021/6/21
Close	2640.00	2021/6/25

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	8730.00	2021/6/21
High	9482.00	2021/6/25
Low	8730.00	2021/6/21
Close	9391.00	2021/6/25



ニュースエクスプレス

イムプラッツ前CEOのTerence Goodlace、Kumba Iron Oreの頭取に

6月24日、アングロ・アメリカンが保有するKumba Iron Oreの頭取にインバラ・プラチナム(Implats)の前CEO、Terence Goodlaceが着任したと発表された。

「南アフリカの鉱山業界を代表するリーダーとして、鉱員の健康と安全を重んじる優れた経営手腕と革新的なアイデアを持つ彼は我々の重役会に貴重な存在となるだろう。」と KumbaのCEO、Themba Mkhwanazi。

同社はまた別の発表で、6月30日現在の6ヶ月間の見出し利益は最低126億ランドで、前年同期比では150%増。当期利益も同様に約126億ランド。

オーバーシー・チャイニーズ・銀行によると今後12ヶ月から18ヶ月で鉄鉱石は250ドル/トンに上昇する可能性がある。

<https://www.miningmx.com/trending/46549-former-implats-ceoterence-goodlace-appointed-chairman-of-kumba-iron-ore/>

水素に焦点を当てたAP Ventures ファンド、4倍の投資を集める

水素バリューチェーンへの投資戦略を展開するAP Ventures Fund IIIはFund Iの4倍の投資を集めて募集が打ち切られた。

先見の明に長けるAP Ventures は2013年より白金族金属(PGMs-)に関連した水素バリューチェーンに投資を続けている。

6月24日、マネージングパートナーのAndrew Hinklyによると、AP Ventures Fund IIIは、800人の多国籍スタッフを抱えるシンガポール政府所有の投資会社タマセク・ホールディングスの2140億ドルの出資を持って締め切りとなった。

タマセク・ホールディングスは、AP Venturesが抱えるアングロ・アメリカン・プラチナム、The Public Investment Corporation of South Africa、イムプラッツ、プラスチックオムニウム、三菱商事、未来創生ファンド、住友商事、Pavilion Capital、Nysø Climate Investments、Equinor Ventures、Yara Growth Venturesなど投資ファンドのグローバルな出資者に名前を連ねることとなった。

<https://www.miningweekly.com/article/hydrogen-focused-ap-ventures-fund-balloons-to-fourfold-bigger-close-2021-06-24>

白金供給超過、日本人の影

自動車の排ガス浄化触媒などに欠かせないプラチナ（白金）。さぞ需要も伸びているだろうと思いきや、2021年には3年ぶりの供給超過になるとの意外な予測が出回る。その背景には日本人の地金投資の減少がちらつく。

英製錬大手ジョンソン・マッセイ（JM）によると、21年の世界の白金需給は19トンの供給超過になる見通し。新型コロナウイルス禍からの経済回復で供給や産業需要が伸びる一方、投資需要が減る。

地域別で投資需要の減少幅が最も大きいのが日本。「ジャパニーズ・バー（日本人の地金）の買いが減る」。市場関係者はささやき合う。

日本は世界でも珍しく白金の地金投資が盛んだ。世界的には金に比べるとマイナーだが、宝飾品向けの人気も含めて「日本人は白金への憧れも強い」（マーケットアナリストの豊島逸夫氏）。バブル崩壊などの苦難を経て現物資産を手元に置く需要も強く、旺盛な地金取引につながる。

なぜ日本人の投資が減るのか。答えは日本人に共通する「逆張り」の売買にある。

コロナ危機でニューヨーク先物が一時1トロイオンス500ドル台まで下がった20年3月は「単月として過去最大の販売量だった」（田中貴金属工業）。その後の世界的な金融緩和などで今年は1000ドル超の高値を保つ。1～6月の田中貴金属の販売量は前年同期比で半減した一方、買い取りは2倍程度に増えている。

環境規制に追われる自動車産業。白金相場は対応コストを左右するだけにジャパニーズ・バーから目が離せない。

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ073290270V20C21A6ENG000/?unlock=1>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- 昨年発表された「持続可能なスマートモビリティ戦略」において、欧州委員会は化石燃料からの脱却を図るために適切なインセンティブが必要であるとしている。ゼロエミッション車、並びにゼロカーボン燃料とそれを支えるインフラの普及には、適切な目標を掲げた政策が有効であるという見方だ。詳しくはプラチナ豆知識「水素モビリティの確立」（2021年6月24日）をご覧ください。
- https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/WPIC_60seconds_Hydrogen_mobility_solutions_06242021.pdf
- 今年 2021 年のプラチナの投資需要は、過去最高を記録した昨年を受けて引き続き好調。詳しくは「WPICプラチナ展望 2021年6月号 投資需要でプラチナの良好なファンダメンタルズの展望 拡大、プラチナの再評価を牽引」をご覧ください。 <https://platinuminvestment.com/investment-research/perspectives>



(@wpicjapan)